



# 憑依隣人

こんばんは、  
ゴミ出しですか？

こ、こんばんは……

はいっ、  
そんな感じです

ガキヤ



わ、目が  
合っちゃった



この人は  
隣の部屋に住む  
安藤さん。

夜遅くに  
ご苦労様です。

女性の  
一人暮らしって  
大変でしょ？

何か俺に手伝える  
ことあれば  
言ってくさいね。

はい……

私とは別の大学に通う  
一つ上の大学生の  
お兄さん、そして  
私が気になってる人――



はあーっ。

今日も何も  
言えなかった…。

音が丸聞こえですよー…  
なんて言えないよなあ。

私がこの部屋に  
引っ越してきた日。  
夜になると女の音が  
隣から聞こえてきた。

最初は彼女さんが  
いるのかと思った。

でも、その翌日には  
別の女の音が聞こえ、  
そのまた翌日は  
また別の女。

ふしだらな男だと  
思いつつも、  
私はこっそり  
壁に耳を当てて  
盗み聞きをする。

毎日違った女を  
安藤さんが  
攻め犯す声を。

連れ込まれた  
女の子は最初、  
なぜか拒否から  
始まる。

安藤さんの家に  
自分から上がって  
おいて  
叫びだすのだ。

でも、次第に  
大人しくなって安藤さんの  
言いなりになっていく。

そうして  
安藤さんの手に  
落ちていく様子を  
聴きながら。

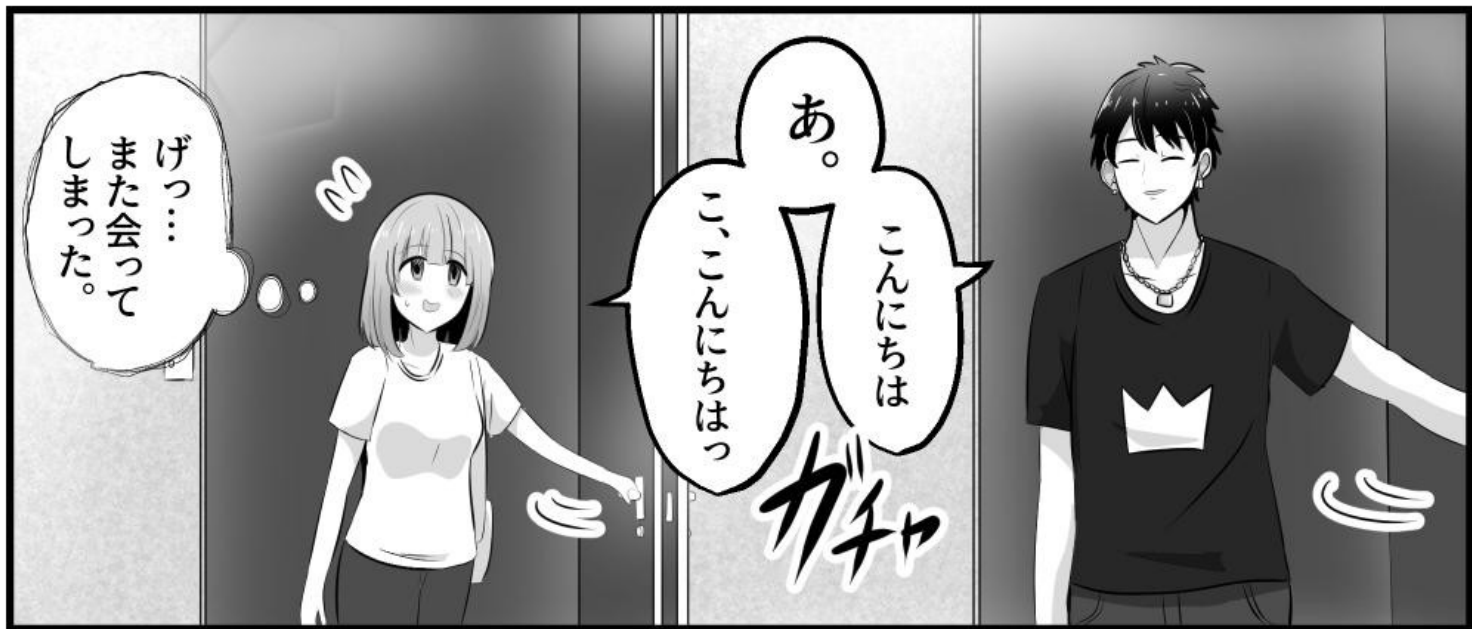
私は毎日  
オナニーを  
するのだ。

はーっ

はーっ

ちゅっ

ちゅっ





……そろそろ  
聞こえてきて  
いいはず。



……



どうして？  
今日は  
やらないの？



もう5分以上  
過ぎてる…

カチ  
カチ  
カチ  
カチ

す…

遅い……。  
いつもなら女の子を  
犯してる時間なのに。

はやく  
してるの  
聞かせてよ!!



スウ...

グググ

知ってるよ。  
そうやって毎日  
聞き耳立ててるの。

え...幽霊ツ...!?

違うよ。  
隣に住んでる  
安藤です。

な、なんで...  
ここ私の部屋ツ...

壁薄いもんねえ。  
毎日君の声も  
聞こえてたよ?

ドキッ

嘘っ...!?



ここにいて  
俺は霊体みたいな  
ものだからね。  
そういうの  
効かないんだ。



おっと。

出てって  
ください！



毎日、人がヤツてるの  
盗み聞きしてオカズに  
使ってたんでしょ？

この変態。



あ、あなたこそ  
人の部屋に勝手に…!!  
け、警察呼びますよ!!

うーん、警察でも  
霊体はどうしようも  
ないと思うけど…

騒がれると  
困るなあ。

悪い子には

お仕置きが  
必要だね。

え

おニ  
!?

ひっ!  
!?



よし、成功♡

ほや、

ムフ...

え.....?  
私の体が.....

...あはっ、  
いいねえ  
お隣さんの  
カ・ラ・ダ・♡

さわ  
さわ

前から気に  
なっていたんだよね。  
お隣さん、  
いい匂いして  
かわいいんだもん。

もみっ

どう?  
自分の体を  
乗っ取られた  
気持ちは。

やっ.....、  
出て行ってよ!!  
やだやだ  
やだっ!!



さあて、  
俺の部屋へ  
ごあんない♡  
すぐ隣だから  
楽でいいね。

もみ  
もみ

これって誘拐  
ですよね…

ふふっ…  
監視カメラにだって  
自分の意志で  
動いてるようにしか  
見えないよ？

さあて、  
保険として  
動画を撮らせて  
もらおうかねえ。

動画…っ?!

君がこれから  
されることに  
同意したって  
証拠を残すんだ♡

君の口を  
使ってね。

ニモッ☆

…っ!!



私は安藤さんの  
声を盗み聞きして  
オナニーしてた  
ド変態です♡

キリッちゃん

私はあゝ♡  
これから安藤さんに  
全てを捧げます♡



いいねえ。  
またコレクションが  
一つ増えた。

ニヤニヤ

こんな事されたって…、  
「言わされた」ことに  
するもの…!!



ん？  
今からお隣さんは  
俺のモノになるんだよ？

毎日聞くぐらい  
羨ましかったん  
だよね？

…っ!!



まずはお洋服を  
脱ぎ脱ぎ  
しましうね♡

スッ

や、やだっ…  
やめてっ

ぬぎ

お隣さんの  
えっちなカラダ。  
俺によく  
見せて。

綺麗なカラダ  
してるね。  
腕も細くて  
すごく非力だ。

男に押し倒され  
ちやったらどうしよーも  
ないねえ、お隣さん。

……っ。

この部屋に来てから  
お隣さんのカラダ、  
すっごく汗かいて  
きちやった。  
このブラも  
脱いじゃおっか♡

だめっ…  
脱がないでっ

あつ、  
ああ…っ



へえー、  
これがお隣さんのおっぱいかあ。

おっぱいも、  
：感度いいね  
お隣さん。

もしかして  
開発してた？

ぷるん

…そ、そんなこと  
してません!!

それは  
どうだか。

俺は普段ね、  
女の子攻めるとき

こうやって  
やるんだ。

す

最初は優しく  
シルクタッチで  
するんだけどね…。



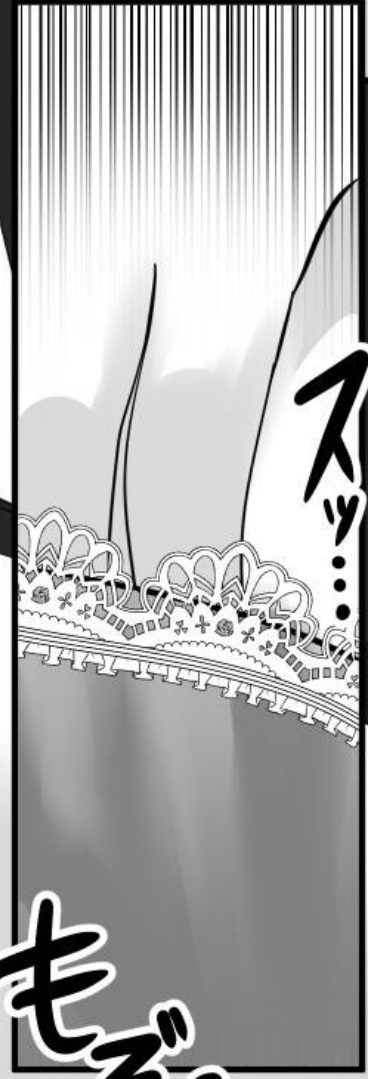
もしかして...  
お隣さんの乳首は  
こうやって攻めて  
欲しかったんじゃない?



ほら♡  
乳首  
勃ってきた



す



スツ...



おっ

じわっ

もみ

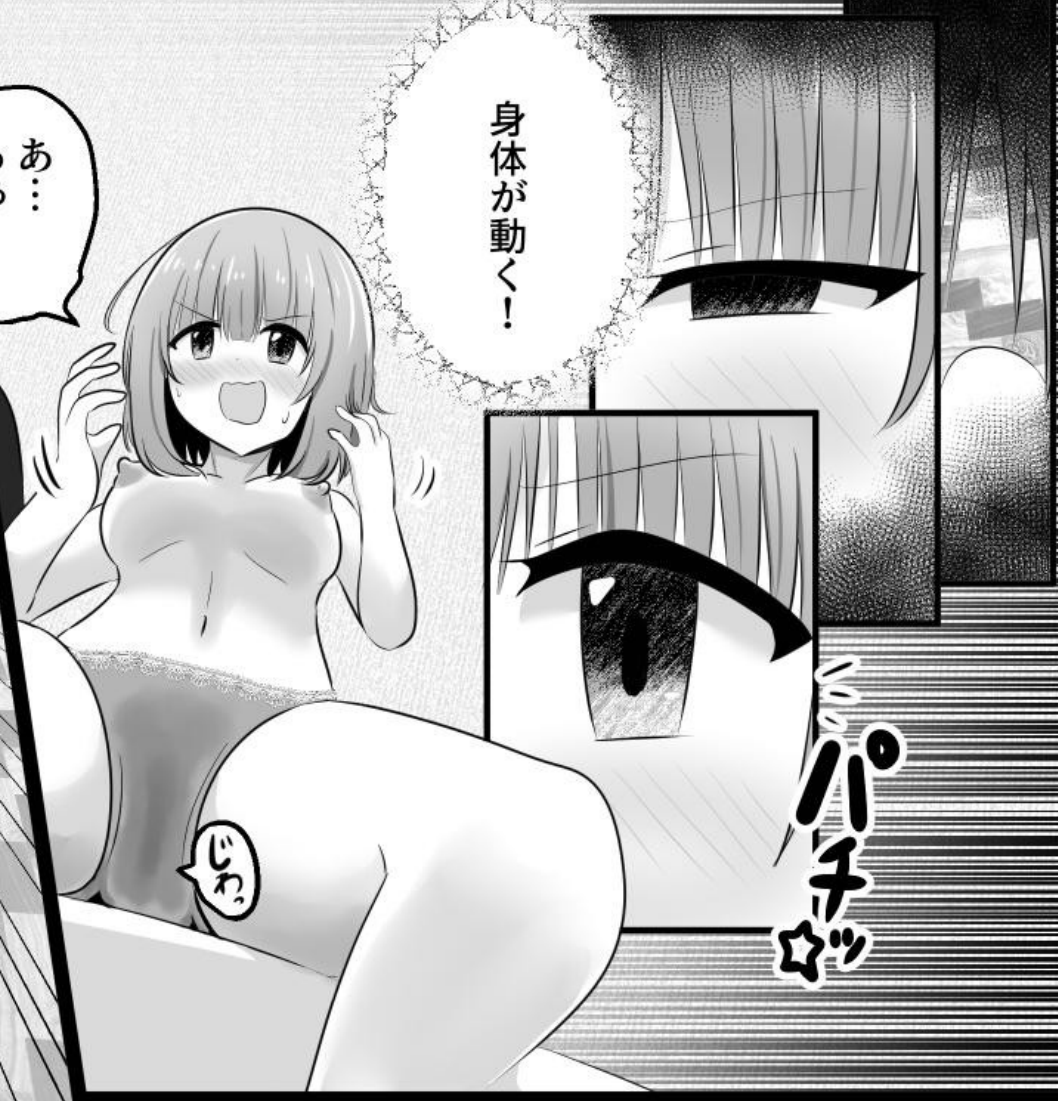
もぞっ





逃げなきゃ

ああ……  
あ……



身体が動く！

パチ☆ツ



ああっ……!!



ガニッ

そんな力で  
俺から逃げれると  
思ってる？

やっ……!!

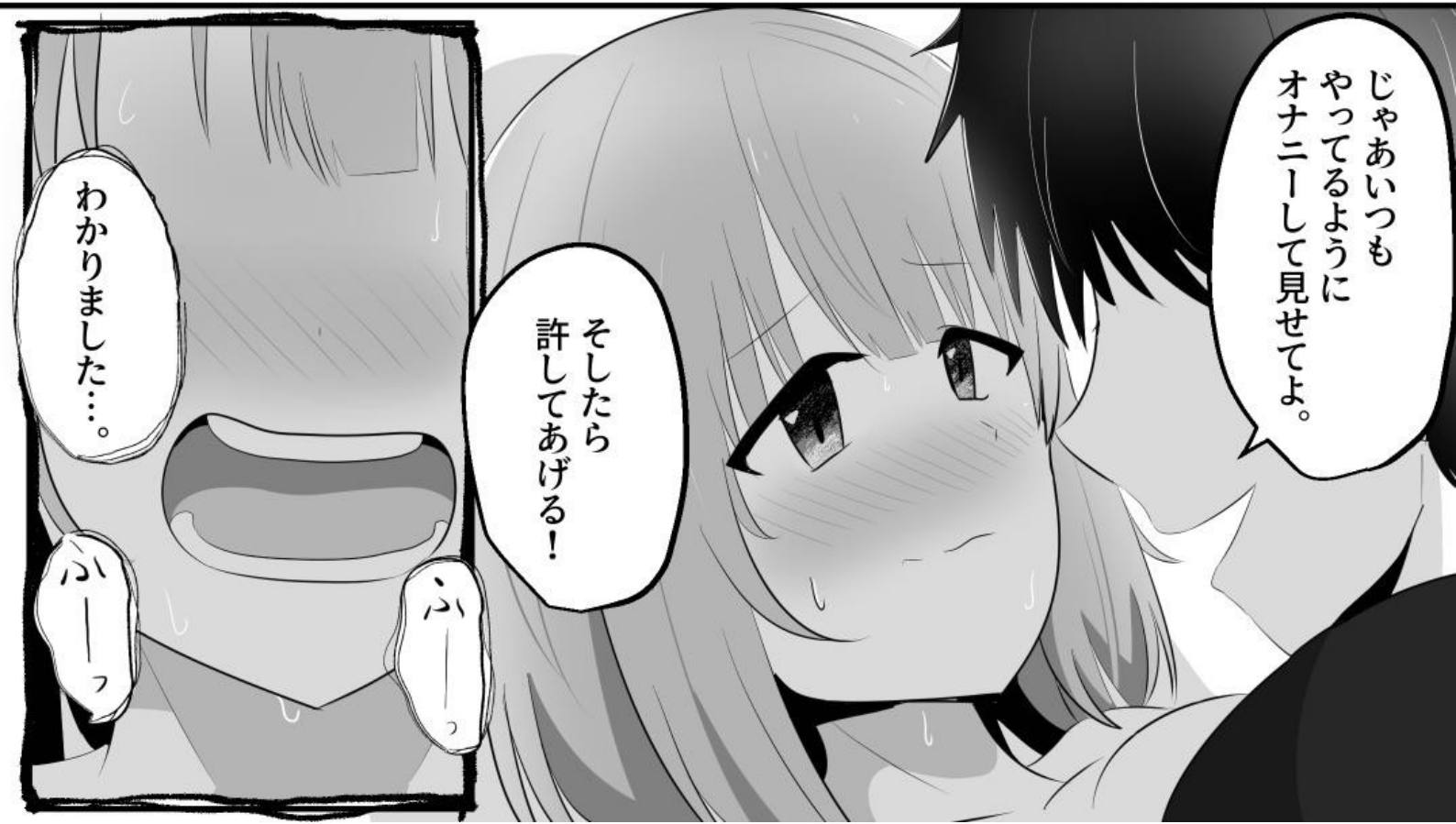


もし仮に  
この場から  
逃げられたと  
しても…  
俺はアンタの  
カラダをいつだって  
乗っ取れるんだぜ？

ドン



盗み聞きしてた  
ことは  
謝ります…!!  
この事は誰にも  
言いませんっ  
だからっ…!!



じゃあいつも  
やってるように  
オナニーして見せてよ。

そしたら  
許してあげる!

わかりました…。

ふっ



ん……。

いつもそんな風に  
やってるんだね。

……。

この部屋から  
聞こえてくる  
音を聴きながら。

びゅん

ぬちゅ

びゅん

ぬちゅ

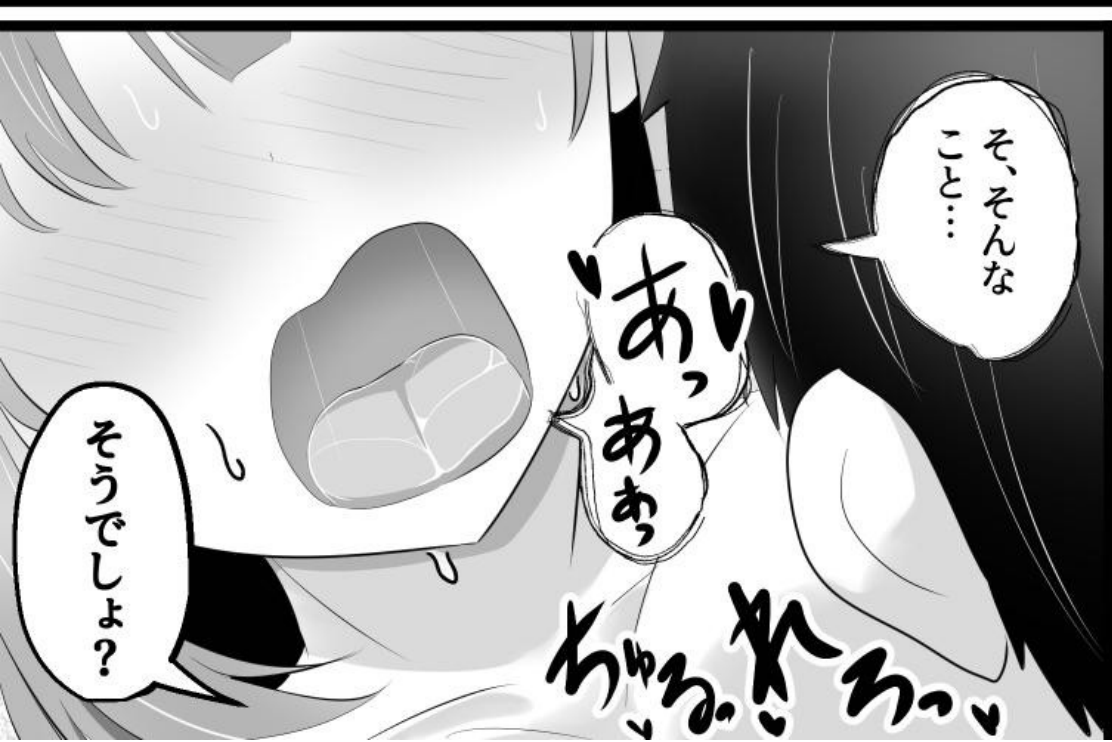


自分がこの部屋に  
連れ込まれた  
気分はどうかな？

ねえ、どんな  
気持ち？  
もしかして、  
うれしいの？

……！！

んんん



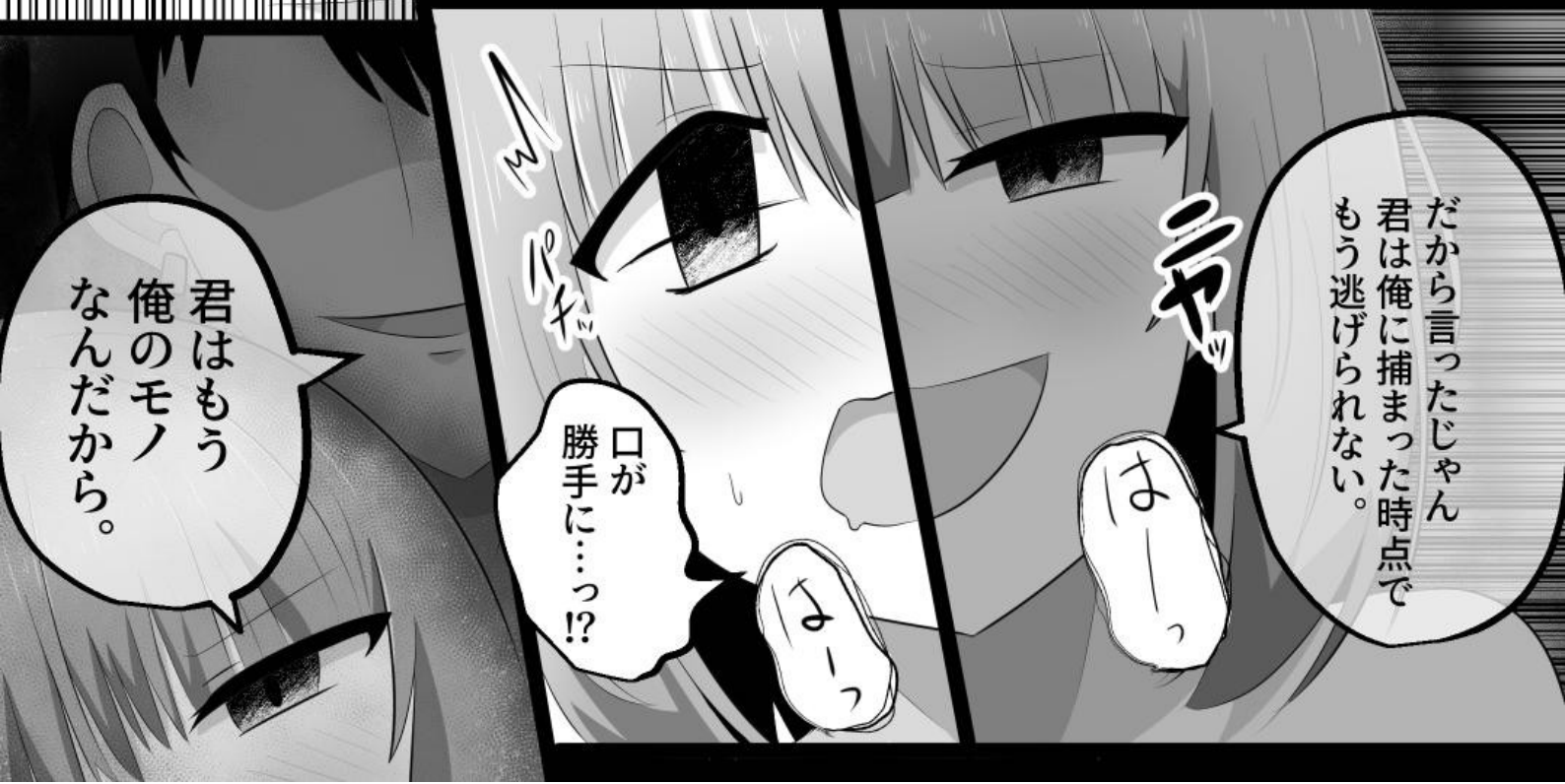


俺は自分のカラダを動かすのと同時に触った相手のカラダも動かせるんだ。

あつ、そうだ。いいこと教えてあげる!!



こういう風だね。



君はもう俺のモノなんだから。

口が勝手に...っ!?

だから言ったじゃん君は俺に捕まった時点でもう逃げられない。

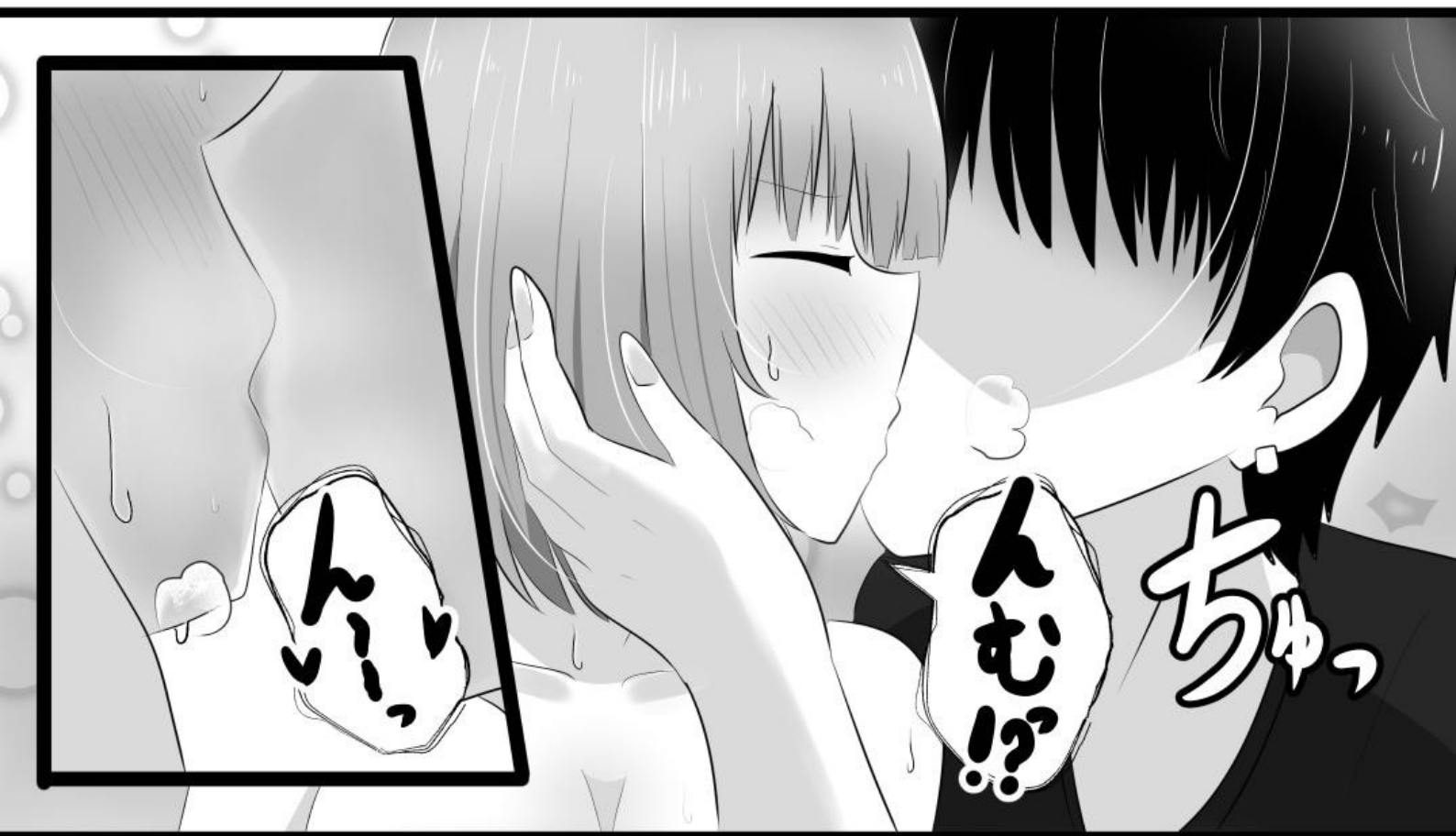


指先にすら力が  
全く入らない…、  
むしろ体が勝手に  
動かされて…

あつ  
あつ

はー

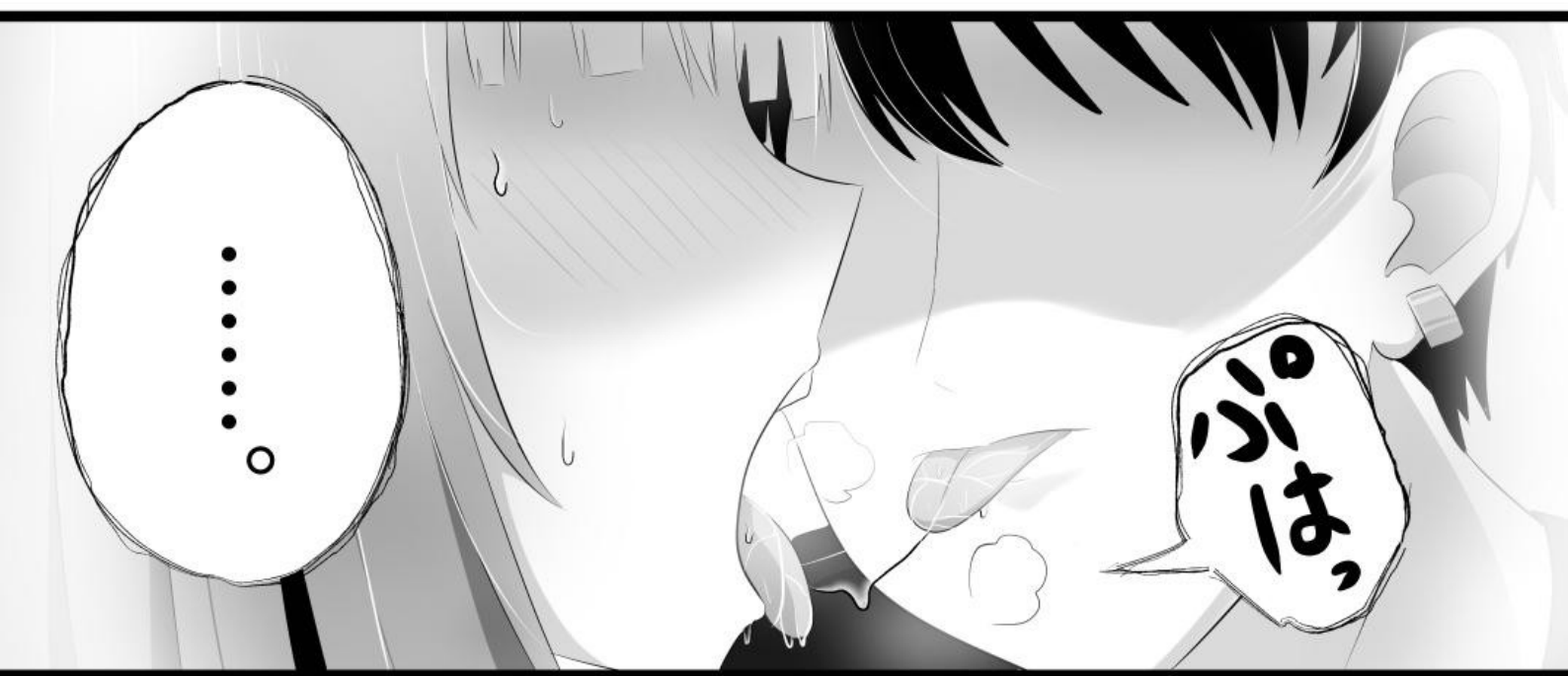
はー



んいっ

んむび?

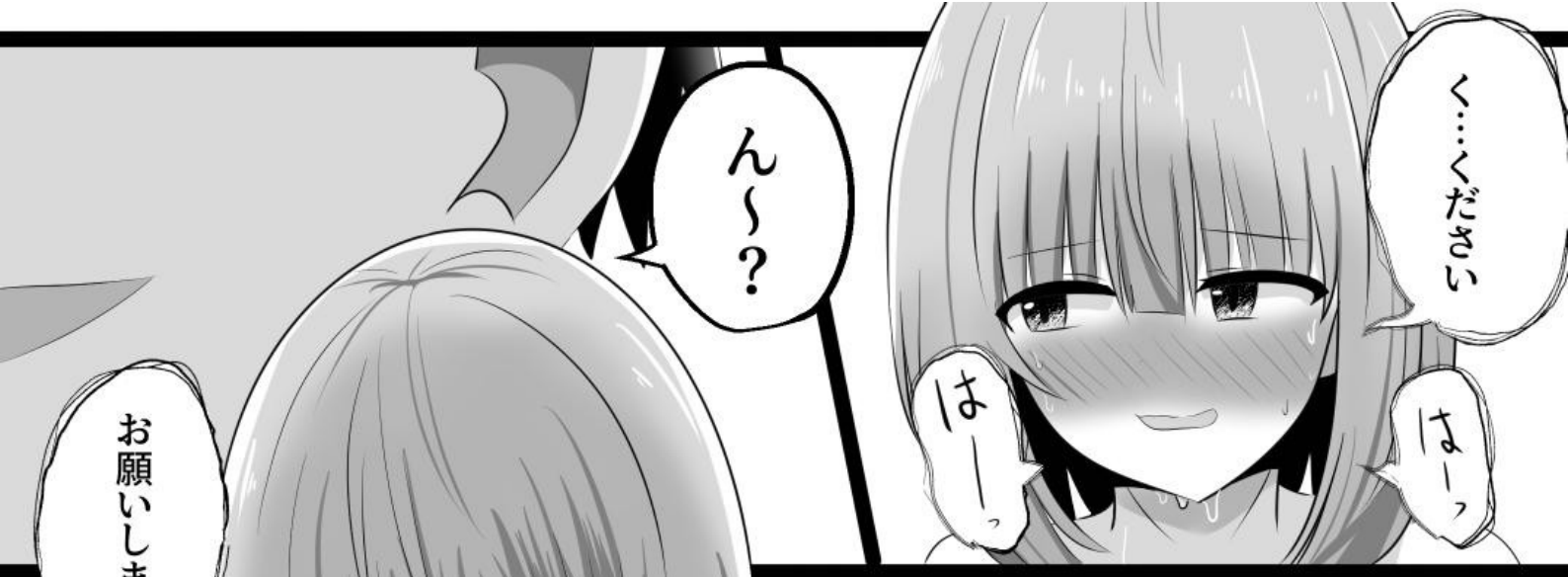
ちゅっ



ふは、

……○





く…ください

ん…?

は

は

お願いします。

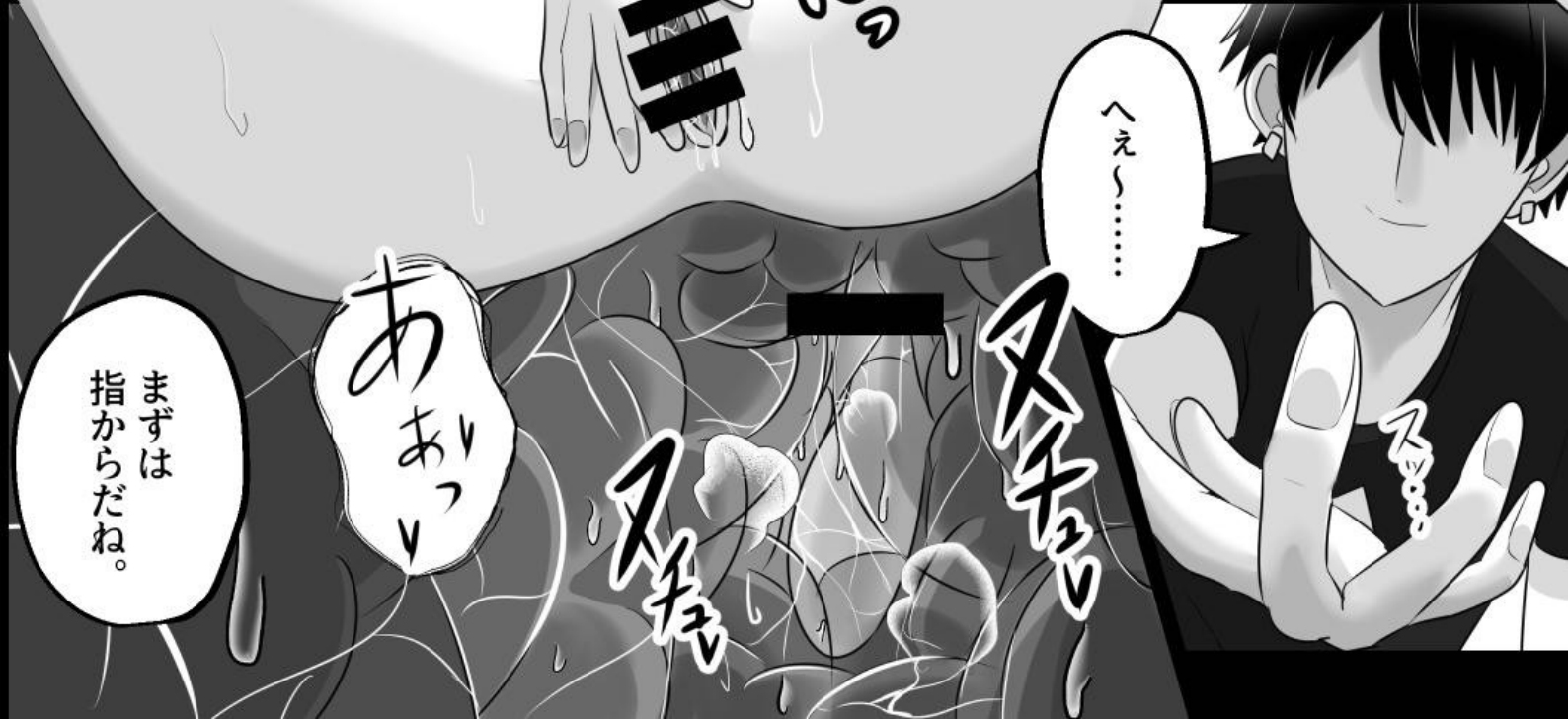


私を使って  
ください…っ  
おちんちん  
私に挿れて  
ください!!

ん

は

ん



へえ…

まずは  
指からだね。

あ

ん

ん



自分で腰をこんなに  
動かしちゃって。

ねえ、お隣さん。

あはっ  
あはっ

あはっ  
あはっ

あはっ  
あはっ

アッ  
アッ



すっごく  
気持ちよさそ

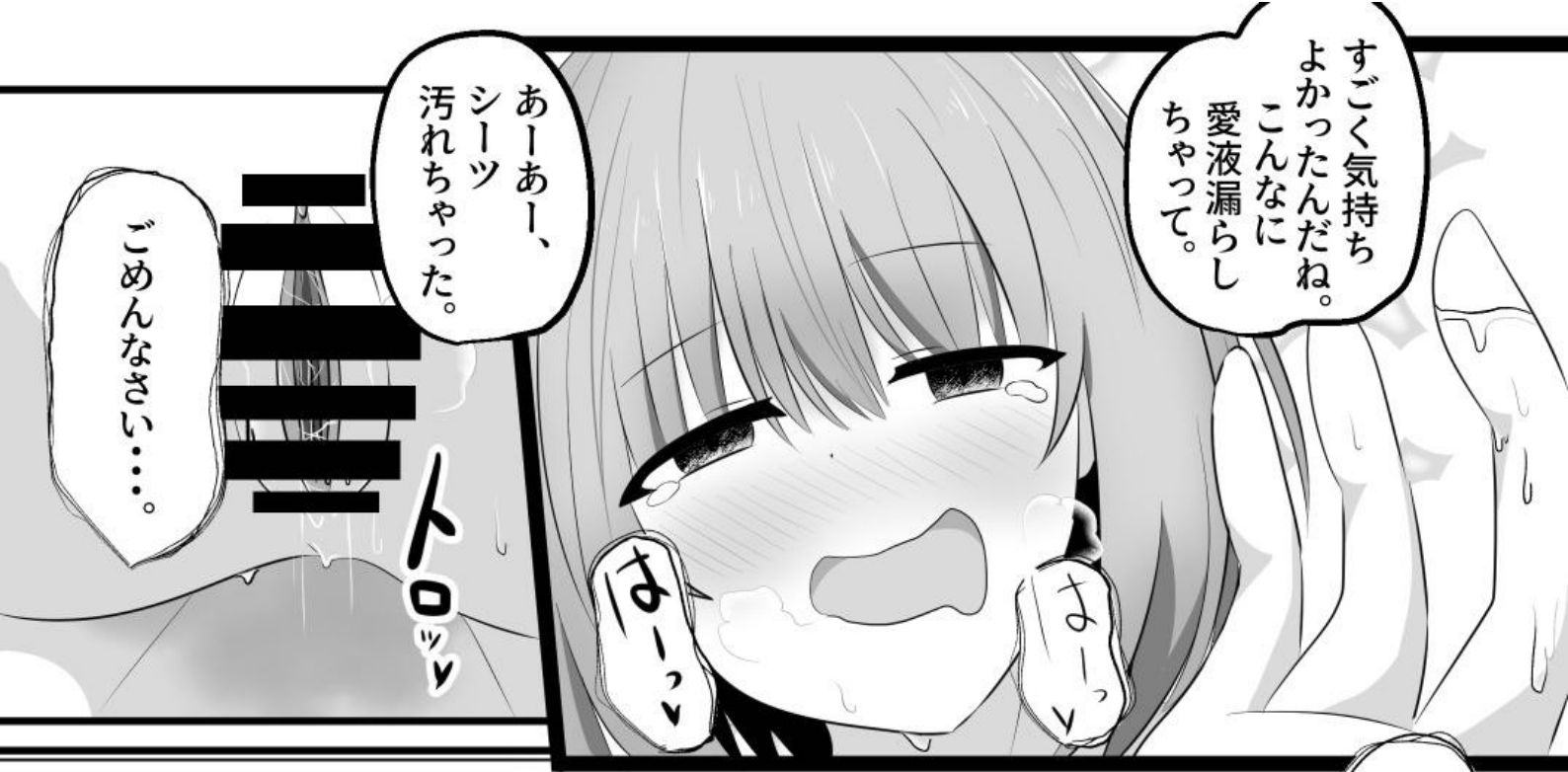
あはっ  
あはっ

でも君はもっと  
支配されたいよね。  
そういう  
変態だもの。

いけ。

じゃ、  
俺が命令して  
あげるよ





すごく気持ちよかったんだね。こんなに愛液漏らしちゃって。

あーあー、シート汚れちゃった。

トロッ

ごめんなさい……



あ、ああ……

ア



とんだ変態だな。

ごめんなさい……ごめんなさい……

でも……まだもらえてません。

まじやう!!

ハサッ





ご主人様が  
あっああっ…♡

ナカに…♡



ご主人様に  
私のカラダ  
とられちゃった♡

あっ  
あはあっ

好き、好き  
好き好き好き  
好き好き

私、ご主人様と  
一つになってる…♡

ハッ…

くちゅん

くちゅん



さわさわ

クチュ

三三三

クチュ

クチュ

クチュ

クチュ

あぁっ  
ご主人様あー♡

ちよっとした刺激じゃ物足んねーんだろ？

だいたいわかったよ。お前のカラダ。





どうか私を  
めちやくちやに  
してください♡

スッ

パン

あっ

パン

ま

スッ

ま

きゅん

ん

スッ

ん

スッ

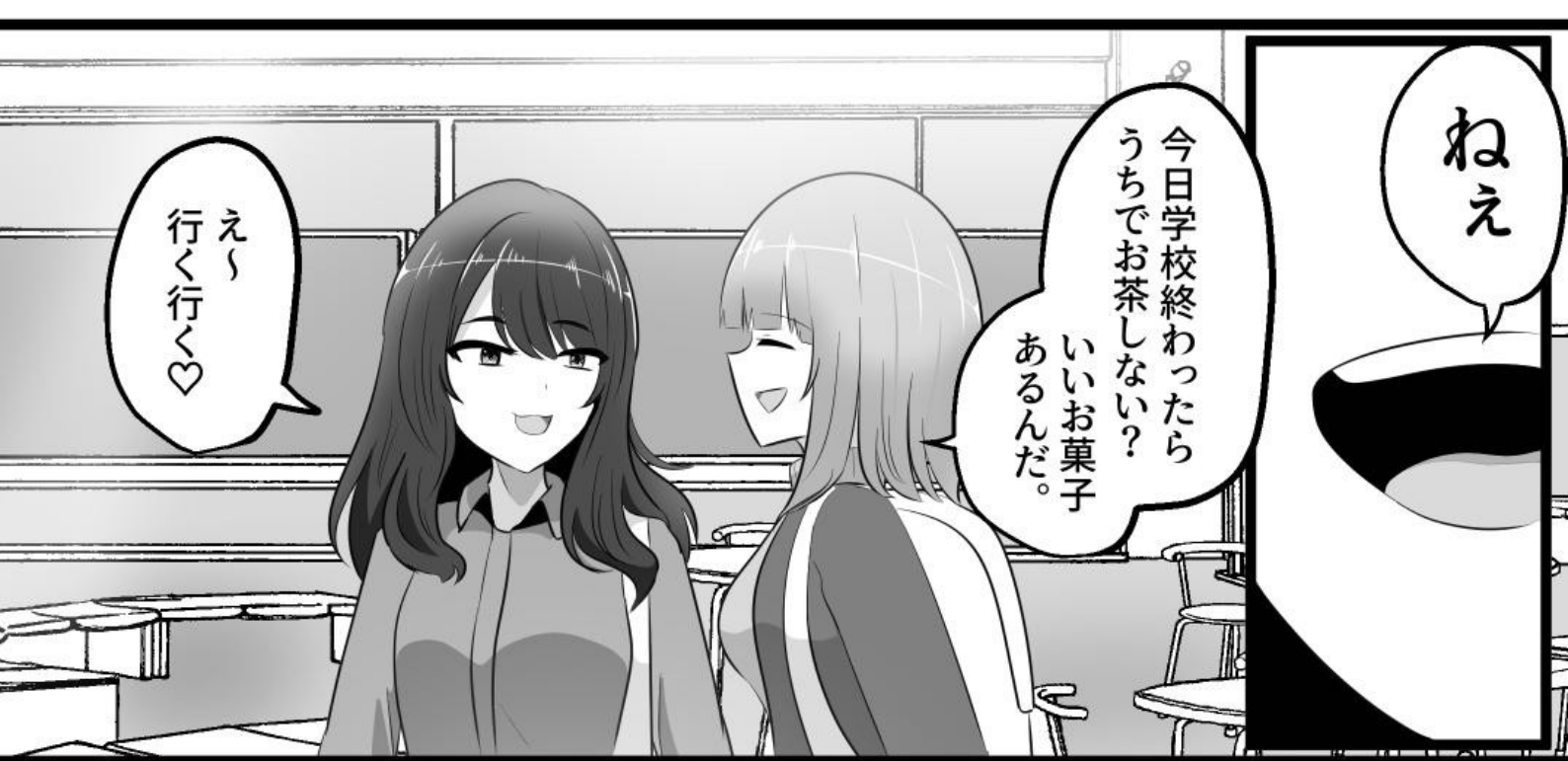
ん

スッ



…ご主人さま♡  
これからも  
よろしく  
お願いします。





え  
行く行く  
行く行く♡

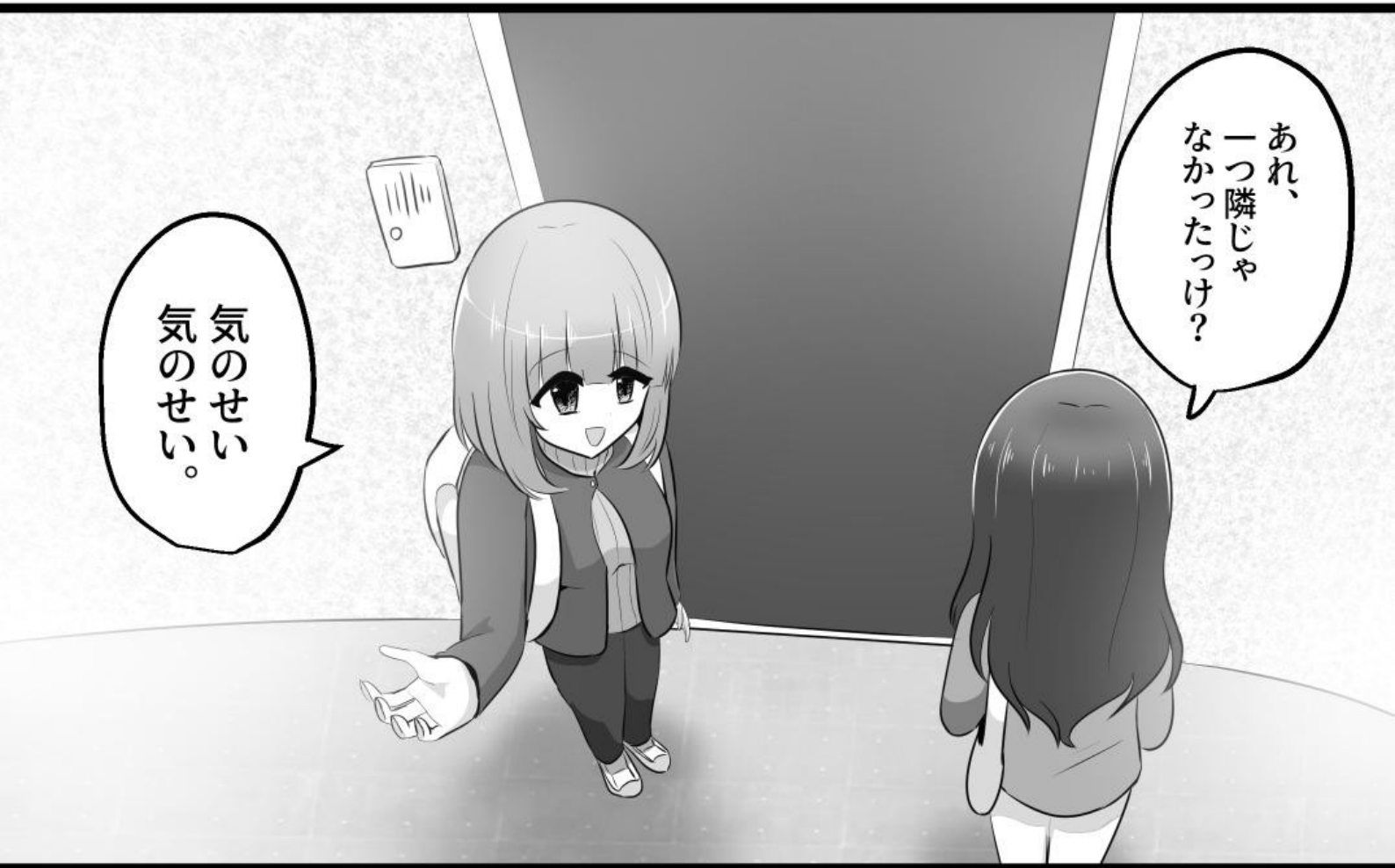
今日学校終わったら  
うちでお茶しない？  
いいお菓子  
あるんだ。

ねえ



気のせい  
気のせい  
気のせい。

あれ、  
一つ隣じゃ  
なかったっけ？



え、絶対部屋  
違うじゃん。

えっ、なにその  
男子中学生  
みたいな顔…

ちよっ……

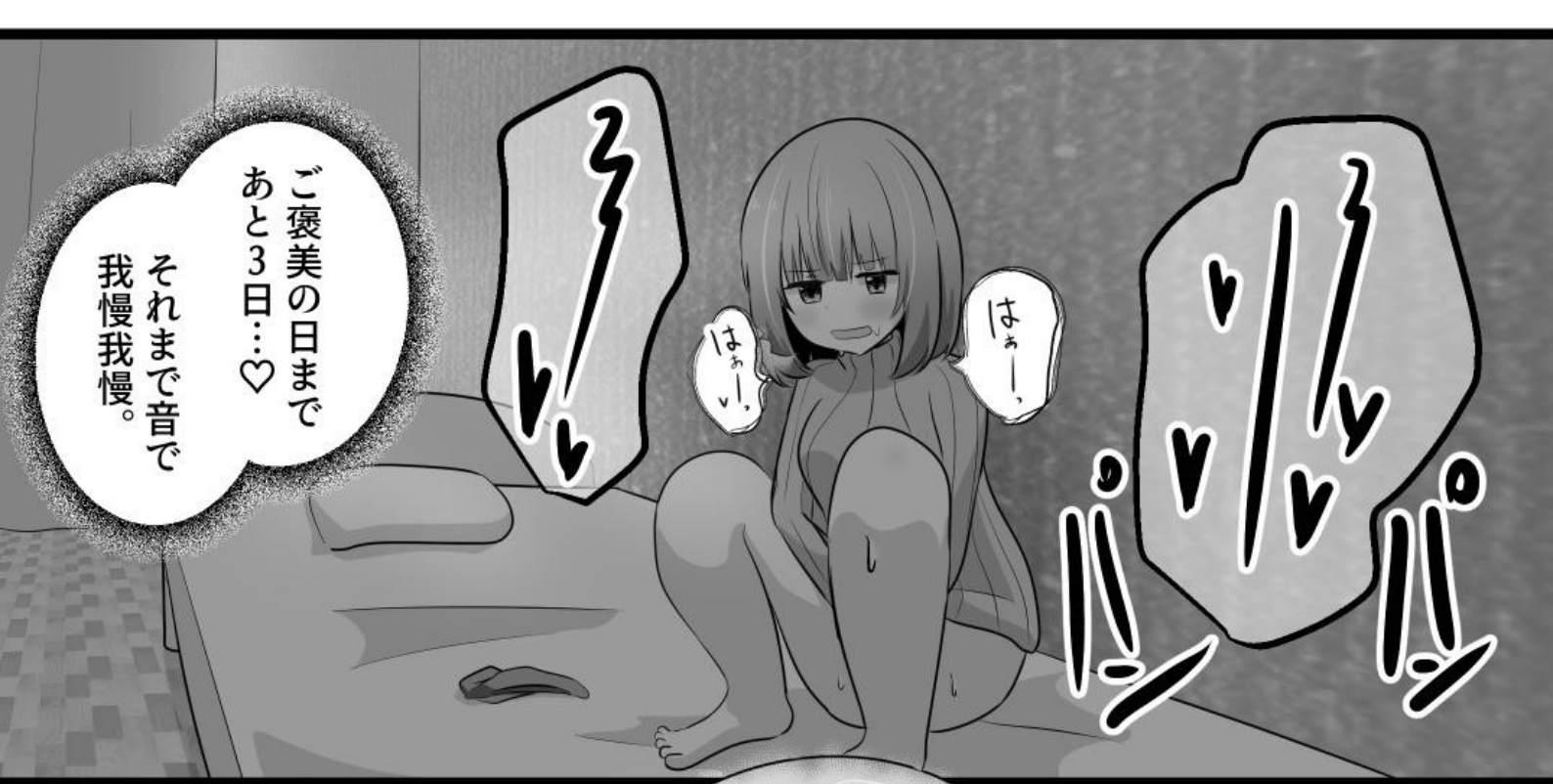
ム  
ッ

何…っ

ん  
っ  
!?







ご褒美の日まで  
あと3日…♡

それまで音で  
我慢我慢。

はい↓

はい↓



私はご主人様の  
都合のいいオモチャ…  
えへっ……。

くちゅ↓

くちゅ↓

ご主人様が  
喜んでくれるような  
カラダに改造しなきゃ♡

私の体になったとき  
一番気持ちよく  
なりますように♡

はい↓

はい↓

えへっ  
えへっ  
えへっ…

くちゅ  
くちゅ  
くちゅ

くちゅ↓

終

# あとがき。



憑依されたい女の子の話を  
描きたかったので描きました。

なんだかんだ、僕の乗っ取り作品って  
あまりダークにはならないんですよね。  
これってライトTS…？と言われてもそうとは答えにくい。  
ダークのような完全支配とも少し違う。

僕はグレーTSが得意です。よろしくお願いします。

